

社会や経済の変化

- 人の数が減ったり、お年寄りが増えたため、働くことができる人の数が減っている(2022年7,438万人→2050年5,275万人)
- 働く外国人が増えている
- いろいろな人が一緒に生活できる社会をつくらうとしている(SDGsなど)
- 新型コロナウイルスが広がったこと…仕事がなくなったり、給料が減ったりして、生活が苦しくなった人が増えた…日本に住む外国人が減った
- デジタル化とDXが進んだ
- 気象災害(天気が原因で起きる災害)がひどくなったり、増えたりしている

浜松市の今の様子

生活

◎多文化共生総合相談ワンストップセンターをつくった(2019年度)

◎「やさしい日本語」の使い方の本をつくった(2018年度)

◎いろいろな言葉で情報を伝える考え方をつくった(2021年度)

○日本に長くいたいと思っている外国人は74.8%

○家を買った人が増えた(34.4%)

○健康保険※1に入っている人は93.0%(会社の健康保険に入る人が増えた)

○年金※2に入っている人は74.6%(会社の年金に入る人が増えた)

○貯金をしている人は36.3%(この中で、貯金が100万円より少ない人は51.8%)

○介護保険制度※3を使ったことがない人の中で、この制度のことをよく知らない人は39.2%

問題 生活が苦しくなったときや、赤ちゃんを産んだり、子供を育てたり、お年寄りになったときも手伝わなければなりません。外国人が日本に長く住むようになったからです。

▶外国人がいろいろなライフステージで必要な情報を簡単に知ることができるようにします。そのために浜松市は外国人を手伝う地域の人々と協力します。

日本語の勉強

◎地域で日本語の勉強を進めるための考え方をつくった(2019年度)

○日本語を話したり聞いたりすることが上手な外国人が多い

○漢字を読んだり、日本語で書いたりすることが難しい外国人が多い

○日本語を勉強する理由は、「生活のため」が70.7%、「仕事のため」が56.2%

○日本語を勉強したことがない外国人は20.9%

○日本語を勉強したいと思っている外国人は73.0%

問題 いろいろな所やいろいろなレベルの日本語の教育

▶浜松市に住む外国人に合った日本語の勉強をしっかりと手伝います。

子供の教育

◎公立小中学校に通う外国人が増えた(2022年度:1,846人)

◎公立小中学校に通う外国人の中で、日本で生まれて成長した生徒は68.0%

◎中学校を卒業して、高校に行く人は80%以上(定時制高校※4に行く人が30%ぐらい)

◎外国人の子供の8.1%が外国人学校に通っている(2022年度)

◎外国人の親の65.9%は、中学校を卒業したら日本の高校に行きたいと思っている

問題 日本に長く住んでいる外国にルーツを持つ子供※5を手伝うこと

▶子供たちに合わせた方法で勉強を手伝います。また、学校や仕事などの将来について一緒に考えて、手伝います。

大変なことが起きたときのための準備

◎災害時外国人支援情報コーディネーターを置いた

◎避難所(みんなが逃げる所)を知っている人は68.0%

◎災害が起きる前に準備してほしいもの

…避難所などをわかりやすく書いておくことは62.2%、早く情報を伝えることは44.3%

◎災害や新型コロナウイルスについての情報を何を使って集めるか

…インターネットは74.1%、テレビやラジオは57.9%

問題 何もないうちに災害のための準備をすることや大変なことがあつたときすぐに情報を知らせること

▶大変なことが起きたときのためにしっかりと準備します(災害のときの準備や外国人に分かりやすい方法で早く情報を伝えること)

※1: 病気がけがのときに払うお金をみんなで助ける保険
 ※2: 年を取って働くことができなくなったとき、生活に困らないようにお金をもらうことができる保険
 ※3: 年を取ったり、病気がけがをしたりして、生活が苦しくなった人を助けるための保険
 ※4: 昼に学校へ行くことができない人が、夜勉強することができる高校
 ※5: 日本の国籍を持っていても、父か母が外国人の子供など

地域・交流

◎浜松市は、外国人と日本人がお互いに理解したり、交流したりすることができるまちをつくらうとしています。そのことに満足している人は13.2%です。

○自治会に入っている外国人は35.6%

○「多文化共生」について知っている人や理解している日本人が増えた(66.8%)

○外国人と会う機会がない人は27.9%

○近所以外で、外国人と交流がない人は68.1%

○外国人に生活のルールを守ってほしいと思っている人は63.8%

○外国人が増えると、まちが元気になると思っている人は21.0%

問題 地域で外国人と日本人がうまくやっていくこと

▶浜松市に住む外国人と日本人が交流する機会を増やします。また、外国人が地域に参加できるように手伝います。

仕事

◎浜松市外国人雇用サポートデスク(2020年度～)

◎外国人材活躍宣言事業所認定制度(2021年度～)

○物を作る仕事をしている人は61.2%

○派遣会社(働く人を他の会社に貸す会社)を通して働く人などが増えた(39.2%)

○新型コロナウイルスの影響で仕事ができなくなった人や休まなければならない人がいました

問題 派遣会社などで働く人が多いこと

▶外国人が会社で働いたり、自分で会社をつくらうことを手伝います。

第3次

浜松市

多文化共生都市ビジョン



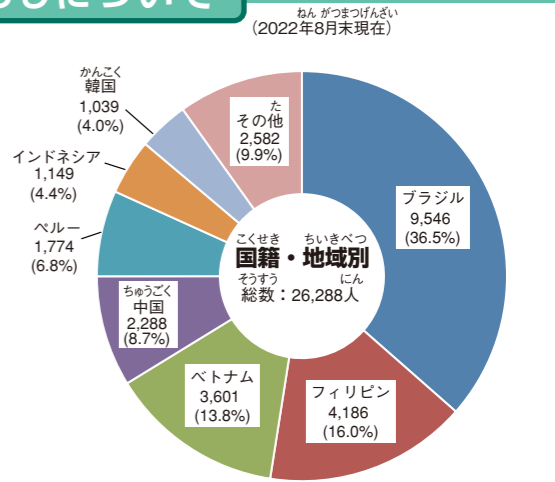
2023年度～2027年度

～相互の理解と尊重のもと、創造と成長を続ける、ともに築く多文化共生都市～

浜松市の外国人の今の暮らしについて

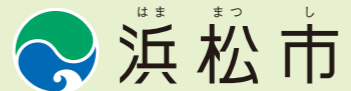
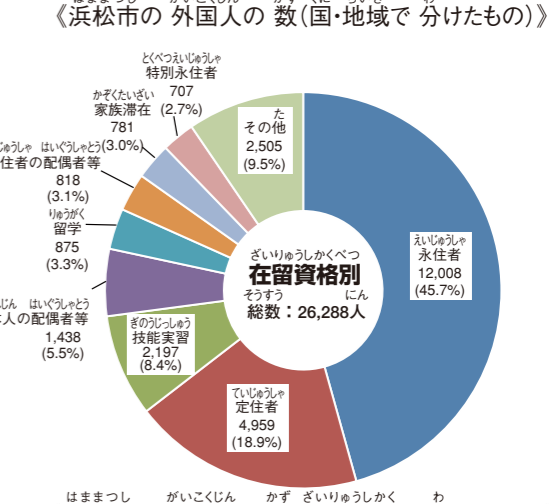
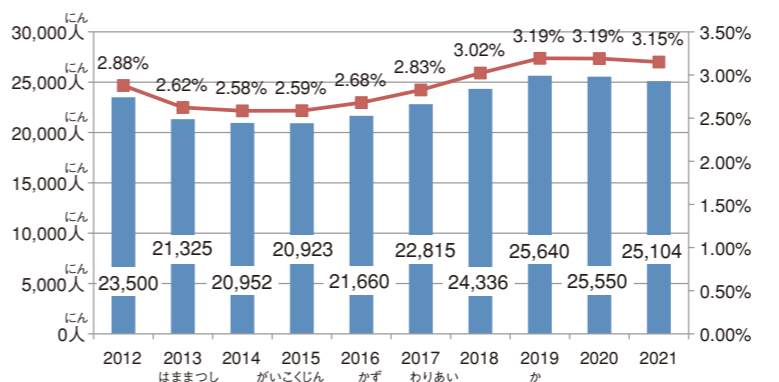
増えています
26,288人

いろいろな国の外国人
87の国と地域から来ています



長く日本に住むことができる人が増えています

お年寄りが急に増えています
今から10年間で、いまの65歳以上の人の2倍ぐらいの人が新しく65歳以上になるかもしれません

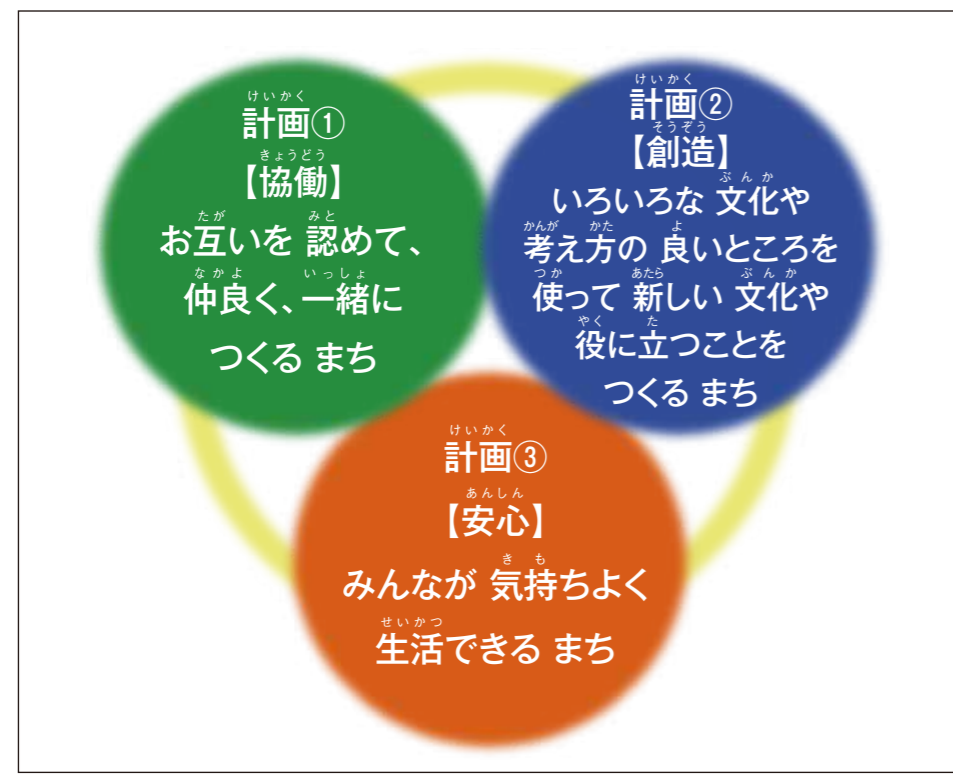


第3次 浜松市 多文化共生都市ビジョン

◆計画の 期間：2023年度～2027年度 ◆浜松市 総合計画の中の 一つの 計画
 ◆いろいろな ライフステージで みんなが 安心して 生活できるようにします。それから、外国人が もっと 活躍できるようにします。
 そして、いろいろな人と まちを 良くするために 多文化共生の 社会をつくります。

将来 になりたい 姿
 相互の理解と尊重のもと、創造と成長を続ける、ともに築く多文化共生都市
 (お互いをよく 知って 大切にしながら、新しいものをつくら 成長を 続けます。みんなが 多文化共生の まちをつくります)

すす すすめ方
 いろいろな人や グループなどと 一緒に やっていきます
 (浜松市 全体で行う/まちの みんなが 協力する/国内や 外国の 多文化共生の まちと 協力する)



とても大切な 計画

スマートフォンの技術や、DX※を進めること

外国人が活躍できるようにすること
 ①協働(4) ②創造(2)(3)

浜松市にあるいろいろなものをうまく使って、地域で活躍する外国人を浜松市に迎えたり、育てたり、協力したりします。地域を元気にしたり、経済をもっと良くしたりするためです。

いろいろな日本語の教育を進めること
 ③安心(2)

いろいろな文化を持つ人たちが地域で一緒に生活するとき、みんながわかる言葉として日本語を教えます。自立した言語使用者になれるように日本語を話すことができるようになります。そのために、地域・学校・会社などいろいろなところで、いろいろなレベルの日本語を教えることができるようにします。オンラインも使います。日本語を教える人も育てて、活躍できる機会を増やします。

いつもの生活やいろいろなライフステージで必要な手伝い
 ①協働(4) ②創造(1) ③安心(2)～(4)

今までしてきた生活や教育の手伝いをもっとしっかりします。スマートフォンやインターネットなどの情報の技術を使ったり、外国人を手伝う地域の人たちと協力したりします。外国人がいろいろなライフステージでほしい情報やサービスを簡単に知ることができるようにします。

大変なことが起きたときのためにしっかり準備すること
 ③安心(1)

気象災害や地震が起きたり、病気になる人が増えたりしたとき、スマートフォンやインターネットを使った情報の技術で情報を早く伝えます。災害を防いだり、災害のための準備をしたりするように外国人に教えます。災害のときにみんなを助ける人を育てます。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)…データとデジタルの技術を使って、仕事や生活を良くすることです。

① 協働

(1) 浜松市 全体で 計画を進めます

- ◆多文化共生に関係があるいろいろなグループとの協力を進めること
- ◆浜松国際交流協会のネットワーク機能を強くすること
- ◆多文化共生の良い例をみんなに知らせること

(2) 多文化共生のための教育をします

- ◆国際理解教育を進めること
- ◆多文化共生についての理解を進めること

(3) 交流する機会を増やしてお互いに理解できるようにします

- ◆交流イベントを行うこと
- ◆地域での交流を増やすための手伝い

(4) いろいろな文化や考え方があ地域の活動を手伝います

- ◆地域のグループへの外国人の参加を増やすこと
- ◆外国人のグループや外国人を手伝っているグループとの協力の関係を強くすること

② 創造

(1) これから大人になる人々を育てたり、手伝ったりします

- ◆子供たちが自然に多文化共生の考え方を持つようにすること
- ◆外国にルーツを持つ子供たちへの教育を手伝うこと
- ◆外国にルーツを持つ人たちの青少年期の仕事などについて手伝うこと

(2) いろいろな文化や考え方の良いところを使って、新しい文化や役に立つことをつくる活動を手伝います

- ◆文化や芸術の活動に外国人が参加しやすくすること
- ◆いろいろな文化や考え方を理解して、大切にすることから、新しい文化をつくること
- ◆外国人が自分たちの文化をみんなに知らせること

(3) いろいろな文化や考え方の良いところを使って地域を元気にします

- ◆外国人が会社で働くのを手伝うこと
- ◆いろいろな外国人が働きやすくすること
- ◆地域で外国人が自分で会社をつくるのを手伝うこと

(4) 他のまちやグループなどとの協力を進めます

- ◆国内の他のまちやグループとの協力を進めること
- ◆インターカルチュラル・シティと協力して、分かったことや学んだことをお互いに教えること

③ 安心

(1) 大変なことが起きたときのために準備します(災害や病気など)

- ◆災害時外国人支援情報コーディネーター※がリーダーになって、災害を防いだり、災害のための準備をすること
- ◆外国人と一緒に生活する社会で、災害を防ぐ力を強くしたり、今よりしっかり災害のための準備をしたりすること
- ◆いろいろな方法を使って情報を伝えること

(2) お互いに自分の気持ちや言いたいことを伝えることができるようにします

- ◆日本語の勉強をしっかり手伝うこと
- ◆通訳をする人や相談を受ける人を増やしたり育てたりして、その人たちによく働いてもらうこと
- ◆ICTなどを使って、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を伝えること

(3) 地域でみんなが一緒に生活するのを手伝います

- ◆地域の問題がうまくいくように手伝ったり、情報を教えたりすること
- ◆地域のルールや地域で必ずしなければならないことを教えること
- ◆地域でお互いの理解を進める仕事をする人を育てて、その人たちによく働いてもらうこと

(4) 安心な生活を続けることができるようにします

- ◆いろいろな情報や相談できる場所を増やすこと (ライフステージで必要なこと・住むところ・病気や病院のこと・子供を育てることや年を取ったときのこと・在留資格など)
- ◆地域で生活を手伝ったりするところとの協力
- ◆安心な生活のためにいろいろな情報を教えること (事件や事故を防ぐことや、安全な交通のことなど)